

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

なし

(発行年 / Year)

1910

(理由) 既ニ說明シタル如ク建物ノ築造觀望及ヒ明取窓ニ關スル規定ハ只一定ノ慣習ナキ場合ニ應スルノ規定ニシテ決シテ之ヲ以テ慣習ヲ打破スルノ精神ニアラス以下二條ノ規定ト共ニ別異ニス

第二百三十七條

(理由) 本條ハ既成法典附產編第二百六十二條第一項乃至第三項ニ在テ修正ヲ加ヘタリ

- 一、地窖ハ適當乾燥ナリ覆蓋ナキモ水溜ニ比シレハ危險少キヲ以テ總テ其距離ヲ二尺トセリ
- 二、厠坑ハ從來疆界線ニ接シテ之ヲ穿テコト多シ俄カニ改メテ其距離ヲ六尺トスルハ著シク慣習ニ悖リ人民ニ非常ノ不便ヲ來スノ虞アルヲ以テ之ヲ三尺トセリ而シテ肥料溜ニ至リテハ用水溜及ヒ下水溜ト等シク其距離ヲ六尺トスヘキモノト信シテ之ヲ厠坑ト區別シタリ
- 三、原文ニハ石樋ニ付テノニ規定セリト雖モ水樋陶樋等ハ却テ一層危險ニシテ又損害ヲ生スルノ虞多キヲ以テ單ニ水樋ト曰ヒ以テ其材料ヲ區別セサルコトトセリ

第二百三十八條

(理由) 本條ハ既成法典附產編第二百六十二條第一項但書及ヒ第四項ヲ以テ一條ト爲シタルナリ蓋シ規定ノ範圍ヲ汎クシテ一切ノ場合ニ適合スヘキモノト爲スヲ必要トシケレハナリ

同編第二百六十三條ヲ削除シタルハ此等ノ工事ニ付テノ規定ハ大ニ公益ニ關スルカ故ニ強制的ノ執行スヘキモノニシテ決シテ慣習ニ一任スヘキモノニアラザレナリ

同編第二百六十四條ハ無用ノ規定ナルヲ以テ之ヲ削除セリ

第二章 所有權ノ取得

(理由) 既成法典ニハ附產取得編ナル一編ヲ設ケ其中ニ物權及ヒ債權ノ取得ニ共通ナル規定アリ又所有權若クハ債權ノ取得ニ關スル規定アリト雖モ本案ニ於テハ附產取得ニ關シテ特ニ編ヲ設ケサルヲ以テ此點ニ付テハ自ラ既成法典ト其體裁ヲ異ニセサルコトヲ得ス即チ物權取得ノ通則ハ本編第一章ニ於テ之ヲ規定シ或物權ノ取得ニ特別ナル規定ハ本編第二章以下ニ於テ之ヲ掲ケタリ而シテ債權ノ取得ニ關スル規定ハ之ヲ第三編ニ掲ケタルコトトセリ

本節ハ即チ此方針ニ基キ所有權取得ノ方法ヲ規定シタルモノナリ尤モ所有權取得ノ場合ハ本節ノ外ニ其規定ナキニ非スト雖モ他ノ條項中ニ於テ規定シタルトテ差違トスヘキモノハ之ヲ省キ此ニ自ラ特種ノ性質ヲ有スルモノノミヲ規定セリ

既成法典ニ於テハ本節中ニ掲ケル所有權ヲ取得ノ方法ニ特別ノ名稱ヲ附シ各々章ヲ分チテ之ニ干スル規定ヲ掲ケタリト雖モ本案ニ於テハ其必要ヲ認メサルヲ以テ總テ之ヲ削レリ蓋其餘數多カラサルト遺失物及ヒ埋藏物ニ干スル細則ハ行政上ノ便宜ヲ計リ之ヲ特別法ニ讓フシコトヲ欲シタレハナリ

在ニ既成法典中ニ於テ削除シタル條文及ヒ其削除ノ理由ヲ說明スヘシ

財產取得編第二條第一項ノ規定ハ狩獵捕漁ノ權利ノ行使及ヒ漂流物遺失物ノ取得ハ特別法ヲ以テ之ヲ定ム可キコトヲ示シタルヲテテレハ敢テ之ヲ明文ニ記載スルノ必要ナカレバ又其第二項ノ如キ

ハ民法ノ範圍内ニ屬セサルモノス同第四條モ亦特ニ之ヲ掲クルヲ要セス蓋シ權利ノ拋棄ノ推定スヘカヲサレコトハ固ヨリ論フ俟タサレハナリ同第七條乃至第十二條ノ削除シタル理由ハ木案第三十四條ノ說明ニ依リテ自ラ明ナリ同第十二條ハ第三條第一項ヲ削除シタルト同ノ理由ニ因リ特ニ之ヲ設クルノ必要ナレ同第十四條モ亦之ヲ掲クルヲ要スルニ蓋シ添附ニ因リテ所有權ヲ取得スルハ法律ノ規定ヲ俟テ始メテ生スヘキ事實ナルヲ以テ苟モ附合シタル物ノレテ分離スルコトヲ得ヘキトキハ其各物ノ所有者ハ其分離ヲ請求シ且ツ損害ヲアレハ其賠償ヲ請求スルヲ得ヘキト論フ俟タサレハナリ同第十六條、第十九條及ヒ第七條第四項ハ木案第二百四十八條ノ規定アルヲ以テ之ヲ存スルノ必要ヲ見ス同第二十一條及ヒ第二十二條ハ當然ノ事ニシテノミニナラス第二十二條ハ如キハ殆ノ其適用ノ場合ヲ生スヘカラサルヲ以テ之ヲ削除セリ又第二十三條第二項以下ヲ削リタル理由ハ木案第二百四十一條ノ說明ニ依リテ自ラ明ナレ

第二百三十九條

(理由) 本條ハ所謂先占ノ場合ヲ規定シタルモノナリ先占ハ無主物ノ所有權取得ニシテ他人ノ所有物ヲ取得スルモノニ非ラス故ニ木案第九十二條以下ノ場合ト大ニ其性質ヲ異ニスルニ特ニ本條設ケタル所以ナリ第一項ハ財産取得編第三條ニ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニレテ最良ノ占有ナル文字ヲ削リタルハ無主物ナル語ト重複スルヲ以テナリ又取得スル方法、ナリト云フカ如キハ剛力法又ハ體裁ニ反スルヲ以テ之ヲ改メタリ第二項ハ財産編第二十三條第二項ノ當ルモノニレテ之ヲ規定ヲ設ケ

第二百四十條

(理由) 遺失物ニ關スル詳細ナル規定ハ之ヲ特別法ニ讓ルヲ便トス蓋シ其規定ニシテ行政上ノ手續ニ關スルモノ極メテ多カレ可キヲ以テナリ然レトモ遺失物ノ所有權ノ取得ニ付テハ之ノ民法ニ規定スルヲ當テス凡ソ遺失物ヲ拾取シタル者カ所有者ヲ求ムルノ手續ヲ盡シタル後一定ノ期間ノ經過シタルモ尚ホ所有者ノ知レサル場合ニ於テ其所有權ヲ取得スルハ固ヨリ其當ヲ得タリトノトス唯其期間ノ長短ニ付テハ諸國ノ法律其趣ハ一ニセス我現行法ニハ之ヲ一年トセリ然レトモ先年議會ニ提出セラレタル遺失物ニ關スル法律案見ニ右ノ期間ヲ六月ト定メタリ木案ニ於テハ主務官廳ノ意見ハ其當ヲ得タルモノナル可キヲ信スルヲ以テ其意見ニ從ヒ本條ノ如キニ規定セリ而レテ漂流物ニ關シテ明文ヲ置カサルハ之ヲ以テ遺失物ト爲スコキヲ以テナリ

第二百四十一條

(理由) 本條ハ財産取得編第六條及ヒ第二十三條ノ修正ヲ加ヘタルモノナリ既成法典ハ先占及ヒ添附ノ兩章ニ於テ埋藏物ニ關スル規定ヲ掲ケ埋藏物發見者カ其所有權ヲ取得スルハ先占ニ因ルモノトシ包藏物ノ所有者カ埋藏物ヲ取得スルハ添附ニ因ルモノト爲シタリ然レトモ埋藏物ハ本來無主物ニ非ラサルヲ以テ先占ニ關スル規定ノ適用ヲ受ラヘキモノニ非ス又埋藏物ト包藏物トハ主從ノ關係ヲ有スルモノニ非サルヲ以テ添附ニ關スル規定ハ其場合ニ之ヲ適用スヘキモノニ非サルナリ木案ニ於

テハ埋藏物ノ所有權ヲ取得スルハ一ニ便宜法ノ規定ニ因リモントスルヲ見解ヲ採リ其所有權ノ發見者ヲ屬スルヲ以テ原則ト爲シ他人ノ物ノ中ニ於テ之ヲ發見シタル場合ニ限リ發見者ニ包藏物ノ所有者トシテ折半スヘキモノト定メタリ是レ羅馬法以來ノ立法例ニ倣ヒタルモノニ外ナラズ又既成法典ハ本條但書ノ場合ニ於テ偶然ニ埋藏物ヲ發見スルモノ以テ其所有權ヲ取得スルニ必要ナル條件ヲ爲セリ是レ蓋シ狼狽ニ他人ノ物ヲ掘査スルノ弊ヲ防止シテ意圖出テタルモノナラシメ然レトモ斯クモ只埋藏物ノ所有權ヲ取得スルニハ其所有者ノ知レサルコトヲ必要トス而シテ其所有者ノ知レサルモノト認ムルハ果シテ何レノ時ニ於テスヘキヤ既成法典ニ於テハ場合ニヨリ發見後三年若クハ二十年ノ期間經過スルコトヲ必要トシタルトモ此等ノ期間ハ稍々永キニ過キ遺失物ノ規定トモ權衡ヲ失フモノトス故ニ本案ニ於テハ埋藏物所有者ノ現出ヲ促カスヘキ相當ノ手續ヲ爲レタル後六ヶ月ノ期間ヲ經過シタルトキハ原所有者ヲ指テ其權利ヲ主張スルコトヲ得シレモナルモノトシ前條ノ規定ヲ準用ス可キモノト爲レタルナリ

第二百四十二條

(理由) 本條以下ハ所謂添附ニ關スル規定ナリトス既成法典ニ於テハ不動産上ノ添附ノ不動産上ノ添附トテ區別シテ詳細ナル規定ヲ設ケタリ而シテ其不動産上ノ添附ニ關スル規定取八乃至二二ハ各種ノ場合ニ于テスルカ爲メ詳細ヲ欲セテ却テ缺漏ニ失スルノ虞ナキ能ハス故ニ本條ヲ以テ之ヲ包括的ノ

第二百四十三條

規定ニ改メタリ
(理由) 本條ノ規定ハ財產取得編第十五條第二項ト其趣意ヲ異ニセス唯原文但書ハ本案第二百四十八條アルヲ以テ之ヲ刪除シタリ
同條第二項及ヒ第三項ハ物ノ主從ヲ定ムヘキ標準ヲ示シタルモノニシテ羅馬法以來諸外國ノ法律ニ於テ多少見ル所アリト雖モ此標準ニ依リテハ往々公平ナル結果ヲ生ズルコト能ハサル場合ナキニ非ス故ニ本案ニ於テハ獨逸民法草案ノ例ニ倣ヒ裁判所ノ認定ニ依リテ物ノ主從ヲ定ムヘキモノト爲シ右兩項ハ之ヲ削除セリ

第二百四十四條

(理由) 本條ノ規定ハ財產取得編第十七條二一ノ修正ヲ加ヘタルモノナリ即チ原文ニ平等ノ權利ニテ云々トアルヲ本條ニ於テハ之ヲ改メテ附合ノ當時ニ於ケル價格ノ割合ニ應ジテ云々ト改メタリ是レ前條ニ於テ財產取得編第十五條第二項ノ規定ヲ採用セサリシ結果ニ外ナラズ蓋シ既成法典ニ於テハ同條ノ掲タル標準ニ依リテ物ノ主從ヲ區別スルコト能ハサル場合ニ始メテ合成品ノ共有ヲ生ズヘキヲ以テ其共有ノ割合ハ勢ヒ平等ナラサルヲ得ズ然レトモ本案ニ於テハ物ノ主從ノ區別ハ裁判所ノ認定ニ任シタルヲ以テ裁判所ノ價格ノ不均ナルニ拘ハラズ主從ノ區別ヲ立テサルコトナレトモ是レ故ニ斯クハ場合ニ於テハ其價格ノ割合ニ應ジテ之ヲ共有スルモノト定ムル外ナキナリ

第二百四十五條

(理由) 本條ハ財産取得編第十八條ニ該當スルモノニシテ其第二項ノ規定ハ此ニテ採用セズ是亦本
案ニ於テ物ノ主從ヲ區別スルノ標準ヲ定メザル結果ナリトス

第二百四十六條

(理由) 本條ハ所謂製作ニ關スル規定ナリトス既成法典ニ於テハ製作ヲ以テ物ト勞力ト相附合シタル
ノ結果ト認メタルカ爲メ添附ノ章ニ於テ之ヲ規定フ揚ケタリト雖モ其當ヲ失スルコト論フ俟タズ抑
モ或人カ他人ノ材料ニ工作ヲ施シタル場合ニ於テ其加工物ノ所有權ハ果シテ何人ニ歸ス可キモノナ
ルヤニ付テハ立法例區々ニシテ或ハ材料ノ所有者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ取得シタルモノアリ或
ハ勞力ニ重ク置キ加工者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ得ルモノアリ或ハ加工物ノ原狀ニ復シタルコト能ハ
サルトキ又ハ加工者ノ善意ナルトキニ限リ加工者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ取得シタルモノアリ蓋
シ加工者ヲシテ加工物ノ所有權ヲ取得セザルモノノ主義ハ勞力ヲ加フルルモノ一ノ新ナル物
ヲ生ズルモノトシテ出テタルモノニ外ナラス然レトモ加工ニ因リテ常ニ新ナル物ヲ生ズルモノトス事
實ニ反スルコトアルヲ免レテ故ニ製作ナル文字ヲ改メテ工作トシテ而シテ其加工物ノ所有權ニ關ス
ル原則ニ至テハ既成法典ノ規定ヲ以テ其當ヲ得タルモノトシ本條第一項ニ之ヲ採用シ唯其他書ノ
場合ニ於テ手間費ナル文字ヲ改メテ工作トシテハハ價格云々ト爲シタルハ加工者ニ於テ加工
物ノ所有權ヲ取得スルニハ實際ノ増價額ニ依ルヲ至當ト認メタルヲ以テナリ又本條第二項ハ原文第

第二百四十七條

三項ト大差ナキヲ以テ之ヲ說明スルノ必要ヲ見ス
(理由) 本條第一項ノ規定ノ正當ナルコトハ論フ俟タズ前五條ノ場合ニ於テ物ノ所有權ノ消滅ス
ル所以ハ物ノ滅失シタルカ爲メナルヲ以テ其物ノ上ニ存セタル他ノ權利モ亦所有權ト同ク消滅セザ
ル可カラサルヲ以テナリ然レトモ若シ明文ナキトキハ疑議ヲ生スルコトナレトモ故ニ顯民法草
案ニ敬ヒテ茲ニ之ヲ掲ケタリ第二項ハ必要ノ制限ヲ定メタルモノニシテ第一項ノ規定アル以上ハ之
ヲ明示スルノ已ムヲ得ザルコト敢テ說明ヲ要セザル所ナリ

第二百四十八條

(理由) 既成法典ニ於テハ添附ノ各種ノ場合ニ付テ償還又ハ賠償ノ責アルコトヲ規定セリト雖モ本條
ニ於テハ便宜上其規定ヲ一括シ本條ニ之ヲ掲ゲタルコト爲セリ是固ヨリ規定ヲ要スル事ナリト雖モ
一ニシテ其規定ヲ設ケル以上ハ何レノ場合モ不當ノ利得又ハ不正ノ所爲ノ責任ニ外ラザルヲ以テ其
各條ニ讓ルヲ便利トス

第三節 共有

(理由) 共有ハ所有權ノ一狀態ニ外ナラス故ニ本章ノ一節トシテ茲ニ之ヲ規定セリ既成法典ハ財產編
第三十七條乃至第四十條ニ於テ共有ニ關スル規定ヲ掲ケ更ニ財産取得編第十四章第五節ニ於テ共有
物ノ分割ニ關スル詳細ノ規定ヲ掲ケタリ本條ニ於テハ前邊ノ理由ニ依リ共有ニ關スル一般ノ規定ハ

總テ之ヲ本節ニ揚クルコト、爲セリ
左ニ既成法典中ノ削除タル條文及ヒ其削除ノ理由ヲ示サン

財産編第三十七條第二項ハ只通常ノ事實ヲ示シタルニ過キス蓋レ共有物ノ果實ヲ離キテ之ヲ分割セサル間ハ各共有者ノ持分ニ應レテ其共有トナルヘキハ論ヲ俟タズ然リト雖モ共有者ハ又何時タリトモ共有物ノ分割ヲ請求スルコトヲ得面シテ果實ノ如キハ其物ノ性質上及レ共有者相互ノ便利ノ爲メ直チニ其分割ヲ爲セザルコト見ルコトヲ得ヘシ原文ハ決シテ果實ノ共有ヲ禁ズル命令的規定ニ非ザルコト疑ヲ容レズ果シテ然ラハ特ニ此ノ如キ規定ヲ設クルノ必要ヲ見サザルナリ同編第二十八條第一項末段及ヒ第二項モ亦當然ノ事ナルヲ以テ之ヲ削レリ又同編第四十條ハ共有ニ關スル規定ニ非ラズ本條ニ於テハ兼ニ修正ヲ加ヘテ本章第一節中ニ之ヲ掲ケザリ(二〇八)

財産取得第四百八條ノ規定ハ不必要ニレ且誤解ヲ生レ得ヘキヲ以テ之ヲ削レリ蓋レ分割ハ其意思表示ノ確定ナルコトヲ要スルハ論ヲ俟タズト雖モ普通所謂證明ナルコトヲ必要トスヘキ理由ヲ見サレハナリ同編第四百九條第一項ハ當然ノ事ナルヲ以テ之ヲ置クノ必要ヲ見ス其第二項第一號ハ苟モ法定代理ノ選任ナキ間ハ一般ノ規定ニ從ヒ分割ヲ取消スコトヲ得ヘキモノトシテ足レリトス又其第二號及ヒ第三號ノ場合ハ本條第二百五十八條ノ規定ニ從ヒ同編第四百十條第四百十一條ニハ分割ノ手續ニ關スルモノニシテ特別法ノ規定ニ讓ルベ便利トス又第四百十二條本文ノ規定ハ合意上ノ分割ニ適用スヘキモノトシテ殆ド其意義ナク又裁判上ノ分割ニ付テハ本條第二百五十八條ニ

於テ裁判所ノ職權ヲ明定シタルコトヲ以テ原文ノ如キ規定ヲ存スルノ必要ヲ見ス又其但書上段ノ如キハ當然ノ事ニシテ敢テ明文ヲ要セス下段ノ規定モ其必要ヲ見サレキモノナラズ本條第二百五十八條但書ノ規定ニ依リ其場合ニハ實際裁判所ニ於テ競賣ヲ命スヘキヲ以テ共ニ之ヲ削除セリ加之條權者タル共有者ノ權利ハ本條第二百五十三條第二百五十四條及第二百五十九條ノ規定ニ依リ十分ニ保護セラレヘキヲ以テ此點ニ付テ原文ヲ存スルノ必要ヲ見サザルナリ同編第四百十二條ノ規定ニ通則ノ適用ニ依リ特ニ之ヲ設クルヲ要セス又第四百十四條ハ本條第八條ノ規定アルヲ以テ特ニ之ヲ掲ケル必要ナキモノナラス共有者中ニ無能力者又ハ不在者アルトキハ裁判上ノ分割ヲ生スヘキヲ以テ之ヲ削除セリ第四百十六條ノ規定ハ共有ノ通則トシテハ其當ヲ得ザルコト明ナルヲ以テ同シク之ヲ削

除セリ第四百十七條ハ分割ヲ以テ認定ノ效力ヲ有スルモノト爲スルノ規定ニシテ素ト一ノ假想ニ出テタルモノニ過キス若シ他國民法ノ如ク遺產和給ニ付テ半分主義ヲ採トキハ或ハ此ノ如キ擬制ヲ設クルノ必要アル可シト雖モ共有ノ通則トシテハ敢テ之ヲ設クルノ必要ナキモノナラス分割者一人ヲ保護セント欲シテ却テ抵當權者其他ノ第三者ヲ害スルノ結果ヲ生スヘク又遺產擔保ノ責任ニ關スル大條ノ規定等トモ抵觸スルニ至ルヘシ故ニ本條ニ於テハ反對主義ヲ採用シ原文ヲ削除セリ又同編第四百十九條ハ債權讓渡ノ效力ニ關スル學例ナリトス取ハ八案スルニ既成法典ニ於テ此種例ヲ設ケ

タル所以ハ蓋シ分割ヲ以テ權利ノ目的ヲ以テスルモノト爲サズ從テ分割者間ニ損益ノ差別ヲ生スル

如キ不公平ナカランコトヲ欲シタルニ外ナラス今若シ相續ニ關シテ専分主義ヲ採ラバ其場合ニ付キ
或ハ此ノ如キ變例ヲ設ケルノ必要アルヘシト雖モ通常ノ場合ニ付テハ此ノ如キ變例ヲ設ケルノ必要
アルヲ見ス且夫分割ノ當時ニ過リテ實力ノ有無及ビ限度ヲ明ニスルハ往々困難ナルモノト謂ハサ
ルヲ得ヌ已ニ分割ヲ以テ賣買ト同シク權利移轉ノ行為トスル以上ハ獨リ權利ニ付テハ特例ヲ掲
ルハ其當ヲ得ス故ニ原文ハ之ヲ削除セリ

同編第四百二十條前段ハ本案總則編ノ規定ヲ以テ足レトシテ敢テ之ヲ置クノ必要ヲ見ズ蓋シ分割ノ
法律行為ナルコトハ自ラ明カナルヲ以テナリ又其後段ノ缺損ニ關スル規定ハ平分主義ニ相續法ニ於
テハ或ハ至當ノ規定ナルヘシト雖モ已ニ一般ノ法律行為ニ付キ之ヲ以テ其取消ノ一原因ト爲サ共
有物ノ分割ニ付テモ亦通則トシテ之ヲ認ムルハ極メテ其當ヲ得サルモノト信スルヲ以テ原文ハ之ヲ
削除セリ

第二百四十九條

同編第四百二十二條ノ規定モ亦法律行為ノ通則アル以上ハ敢テ之ヲ設ケルノ必要アラザルナリ
(理由) 本條ハ財産編第三十七條第一項ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ原文ニ持分ノ均不分、拘ハハ、ス
アルヲ改メテ其持分ニ應ヒテ、使用ト爲シタルハ持分ノ少キ共有者ト雖モ尙ホ共有物ノ全部ニ付キ
持分ノ多者ト同一ノ使用權ヲ有スルモノトスルハ極メ不公平ナルカ爲メナリ原文ノ趣意或ハ然ラ
サルヘシト雖モ極メテ不明瞭ナルヲ免カレヌ故ニ此ニ原則トシテ共有者ノ使用權ノ範圍ハ其持分ニ

第二百五十條

應スルモノト爲シタリ
(理由) 本條ハ財産編第三十七條第二項ノ本文ト毫モ異ナラズ處ナレシ而シテ其但書ヲ削除シタルハ本案
ニ於テ推定スト云ヘル文字ヲ用ニシトキハ必ス反對ノ證據ヲ許ス意ナルカ爲メナリ

第二百五十一條

(理由) 本條ノ規定ハ財産編第二十八條第一項ニ該當スルモノニシテ特ニ之ヲ設ルニ必要ナキカ如シ
ト雖モ第二百四十九條及ヒ七次條ノ規定アル爲メ或ハ疑議ヲ生セシコトヲ恐レ之ヲ置クトコトヲ至
當ト信シタリ

第二百五十二條

(理由) 財産編第三十七條第四項ニ依ルトキハ保存行為ヲ除ク外共有物ヲ管理ニ關スル行為ハ總テ共
有者合同ヲ以テ之ヲ爲スニ非サレハ其效力ナキモノトセリ然レトモ此ノ如クナルトキハ許多ノ場合ニ
於テ不便ナルヘキヲ以テ本條ノ如クニ條正セリ而シテ前條ノ場合ヲ除外ト云ヘル數字ヲ加ヘタル
ハ管理ナル文字ノ意義流博ナルカ爲メ或ハ前條ノ場合ヲ含ムモノトスルノ惡アルカ爲メナリ

第二百五十三條

(理由) 本條第一項ハ財産編第三十七條第五項ニ同レ第二項以下ハ債權者タル共有者ノ權利ヲ確保ス
ルニ付キ必要ト信シタルヲ以テ或三ノ立法例ニ倣ヒテ之ヲ置ケリ

第二百五十四條

(理由) 本條ハ財産編第三十七條第六項ニ修正ヲ加ヘタルモノニシテ、原文ニ於テハ前數項ニ揚テル事項ニ付キ別段ノ合意ヲ爲スヲ得ヘキコトヲ示レタルニ過キス然レトモ此際ニ付テハ單テ明文ヲ讀クルノ必要ヲ見ス唯規定スヘキハ其契約カ各共有者ノ特定承繼人ニ對シテ效力ヲ生スル事ナリトス但登記法ニ於テ此等ノ契約ト雖モ之ヲ登記スヘキモノトスルコト必要ナルヘレ本條ハ即チ此目的ヲ以テ原文ヲ修正シ獨逸民法第二編會章案ニ於テ各種ノ場合ニ付キ規定スル所ノ一括シテ汎ク共有者ノ一人カ本節ノ規定ニ依リテ共有物ニ付キ他ノ共有者ニ對シテ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得ヘキ旨ヲ明セリ今若シ本條ノ規定ヲキトキハ他ノ共有者ニ對シテ債務ノ負擔スル共有者ハ持分ノ讓渡ヲ爲スニ依リテ相手方ノ債權ヲ有右無實ニ隨セシムルコトヲ得ヘキナリ

第二百五十五條

(理由) 本條ノ規定ハ諸國ノ法典ニ其例ヲ見ケル所ナリト雖モ若シ之ヲキトキハ持分ヲ拋棄シタル共有者又ハ相続人ヲシテ死亡シタル共有者ノ持分ハ何人ニ歸屬スヘキニ付キ疑ハ生ス可キヲ以テ之ヲ置ケリ殊ニ不動產共有ノ場合ニ於テ若シ本條ノ如キ規定ヲキトキハ本案第二百三十九條第二項ノ規定アルカ爲メ國ヲシテ共有者タルモノノ結果ヲ生シ甚不便ナルヘレ

第二百五十六條

(理由) 本條第二項及ヒ第二項ハ財産編第三十九條第一項乃至第三項ニ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニ

外ナラス共有ハ往々ニシテ紛議ノ基ト爲リ共有者ノ一致鞏固ナルニ非サレハ共有物ノ改良ハ到底望ムヘカワサルヲ以テ其一人ノ請求アルトキハ分割ヲ爲スヘキモノトスルハ殆ト諸國ノ法律ニ認ムル所ナリ

第二百五十七條

(理由) 本案第二百八條及ヒ第二百二十九條ニ揚テル共有物ハ其性質上分割ヲ許スモノニ非スト雖モ若シ明文ヲ以テ之ヲ禁セザルニ於テハ前條ノ規定ノ適用セラルヘキニ依リ特ニ本條ノ規定ヲ設ク

第二百五十八條

(理由) 凡テ裁判上ノ分割ヲ必要トスルハ分割ニ付キ共有者ノ一致セザル場合トス此場合ニ於テ裁判所ノ職權ヲ定ムルコトニ付テハ諸國ノ法律其原則ヲ異ニス本案ニ於テハ分割ノ方法及ヒ割合ニ付キ成ルヘク裁判所ノ職權ヲ制限セザルヲ便利トシ唯但書ニ揚テルカ如キ不便ヲキ限リハ現物ニテ分割ヲ爲スコトヲ要スルモノト定メタリ但其別段ノ場合ニ履行スヘキ號賣ノ手續ハ他ノ場合ニ付テキレ之ヲ定ムルノ必要アルヘキヲ以テ之ヲ特別法ニ讓リタリ

第二百五十九條

(理由) 本條ハ便宜ノ規定ト認メ獨逸民法草案ニ載ヒ之ヲ設ケタリ蓋シ共有者ノ一人ノ共有ニ基ケル債權ヲ有スルトキハ分割前ニ於テハ第二百五十三條第二項及ヒ第二百五十四條ニ依リテ保護ヲ受ク

ルコトヲ得ヘレト雖モ場合ニ依リテハ述ニ辨濟ヲ得ルヲ欲セサルコトヲヘテ或ハ又分割ノ目前ニ追ルトキハ其保護ヲ受クルコト能ハサル場合アルヘシカル場合ニ於テハ共有者ヲテ分割際ニ辨濟ヲ受クルコトヲ得セシムル方法ノ定アルヲ至當トス既成法典ニ於テハ即チ此ノ如キ場合ニ於テ分割者ノ爲メ先取特權ヲ認メヌリト雖モ先取特權ヲ實行スルニハ多少ノ時日費用等少ク分割ノ未ダ結了セザル前ニ於テ償還ヲ受クルコトヲ得セシムルノ簡便ナルニ若カス是レ本條ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

第二百六十條

(理由) 本條ノ規定ハ既成法典ニ缺クル所ナリ然レトモ若シ共有物ノ買戻權ヲ有スル者ノ如キ共有物ニ付キ權利ヲ有スル者又ハ共有者ノ債權者カ自己ノ費用ヲ以テ分割ニ參加スル以上ノ散テ他人ヲ害スル弊チキリミナラス正當ノ範圍ニ於テ其權利ヲ保持スルニ付キ利益少ナカラザルヲ以テ之ヲ置ケリ

第二百六十一條

(理由) 本條ハ財産取得編第四百十八條ニ少ク修正ヲ加ヘタルモノナリ既成法典ニ於テハ共有者ノ擔保ノ責任ニ付キ其責任ノ限度ノ條件等ノ事ヲ規定セス此ニ於テ手賣主ノ擔保義務ニ關スル規定ヲ準用スルコトヲ得ヘキヤ否ヤニ付キ疑アリ蓋シ既成法典ニ於テハ分割ヲ以テ認定ノ效力ヲ生スルモノト爲シタルカ爲メ別段ノ規定ナキ限ハ賣主ノ擔保義務ニ關スル規定之ニ準用スルコト能ハサルカ

第二百六十二條

(理由) 本條ハ財産編第四百十五條ニ聊カ字句ノ修正ヲ加フルモノニ過キス苟モ共有者一人ノ要求ニ依リ分割ヲ爲スヘキモノトシタル以上ハ民法上ノ義務トシテ證書ノ保存スヘキ者ヲ定ムルノ必要ナルコトハ疑ヲ存セサルナリ

第二百六十三條

(理由) 入會權ニ付テハ各地方廳及裁判所ニ照會シ其回答ヲ得テ得ル書類ヲ閱スルニ價額區一定セスト雖モ要スルニ地役ノ性質ヲ有スルニ非サレハ共有ノ性質ヲ有スルモノノ如ク而シテ其共有ノ性質ヲ有スル者ハ本節ノ規定ニ從テヘキカ如シト雖モ入會權ヲ有スル村民ニシテ若シ自由ニ持分ヲ讓渡シ又ハ何時ニテモ分割ヲ請求スルコトヲ得セモノトセハ多地方ノ慣習ニ背キ其弊害極メテ大ナルヘキヲ以テ主トシテ各地方ノ慣習ニ從テヘキモノトナセリ

第二百六十四條

(理由) 數人カ或物ニ付キ共有スル權利ハ多クハ所有權ニ外ナラス、雖モ占有權其他ノ權利ニ付テモ亦之ヲシテセス而シテ本節ノ規定ハ其權利ノ性質又ハ法令ノ規定ニ反セサル限りハ此等ノ權利ニモ適用スヘキモノトスルノ至當ナルコト論フ低キス是ニ此規定ヲ置キタル所以ナリ